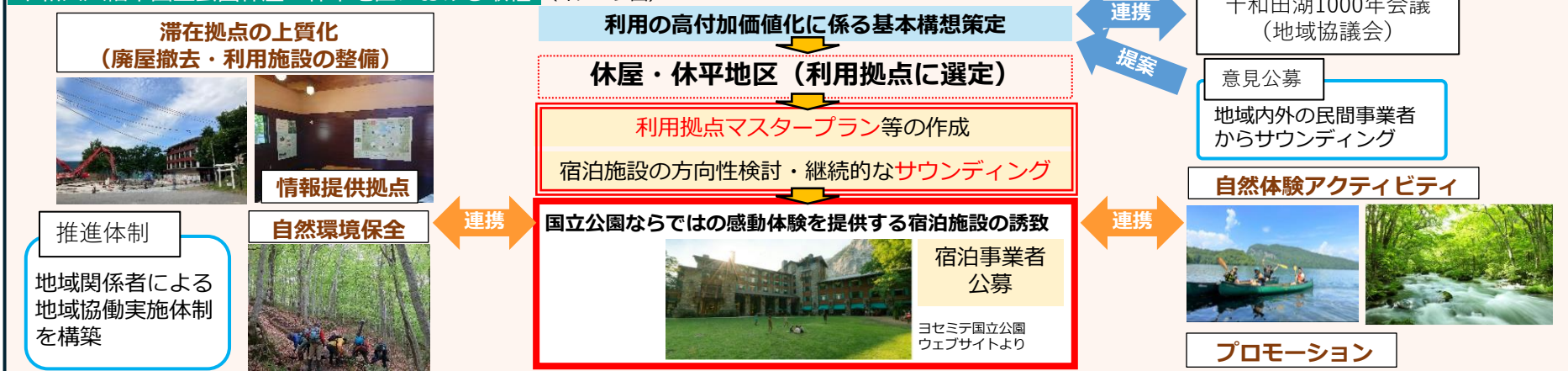


国立公園における滞在体験の魅力向上事業の展開

- 国立公園の美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図るため、民間活用により滞在体験の面的な魅力向上に取り組む「先端モデル事業」を4公園で実施。

先端モデル事業（十和田八幡平、中部山岳、大山隠岐、やんばる）

十和田八幡平国立公園休屋・休平地区における取組（イメージ図）



得られた知見を活用

更なる展開事業（全国各地）

- 全国の国立公園（全35公園）において、地域の理解を得つつ、民間事業者の意向を把握し、各公園の特性に合わせて取組内容を調整した上で、民間活用による魅力向上の取組を展開。

- 順次、地方公共団体や民間事業者において滞在体験の魅力向上の取組に関心のある地域から、地域説明会やサウンディング調査をすみやかに実施。
- 並行して、学識経験者や民間事業者の意見を踏まえながら、全国展開に係るスキームや実施主体（民間事業者等）への協力・支援等の内容を検討。



国立公園制度100周年となる2031年までに、全ての国立公園で民間活用による魅力向上事業を実施